

「大学は間もなく卒業しますがもう一度大学に入りなおそうと思っています。どう思われますか？」

平成31年1月2日

●ムーミンさんからの質問

こんにちは、質問の都合上匿名であることをご了承ください。いわゆる私立大のボーダーレス大学に通っています。ゼミは破綻し、授業のテストは暗記と化しています。高校までであればそれでよいかもしれませんが、大学ではそれはいかがかとは思いますが、高校在学中は勉強の必要性を感じなかったのですが、勉強へ熱心な風土の中でともに常に勝負しながら勉学に励みたいと思い、大学は間もなく卒業しますがもう一度大学に入りなおそうと思っています。（特に私は経済学部で、新自由主義の批判手に立ち、どのように経済学があるべきかを新たな視点の下に研究者の立場で発したいと思っています。）周りには「二度手間だよ」とはいわれますが、西田先生はどのようにお思いになるのかお伺いしたいです。人生相談でも可能とのことでしたので、僭越ながらご質問させていただきます。

●西田昌司の答え

「思い立ったが吉日」と言いますし、もしも再入学が許される環境にあるのであれば大いに頑張られたらよろしいかと思えます。

私は大学時代、税理士試験のための勉強をしていましたが、その他のことはあまり考えてもいませんでしたし、大学時代はともすると無為な日々を過ごしてしまいがちです。

私は大学を卒業してから税理士になって世の中をいろいろと見ていましたが、たまたま京都府議会議員の補欠選挙に立候補する運びとなって議員生活

が始まりました。議員になってからは、(昨年自死された)西部邁先生に出会って西部先生から多くを学びました。西部先生は(私が会った前は)東大教授をされていたことありますが、滋賀大卒の私が東大の西部ゼミナールに参加していたようなものですし、西部先生には非常に感謝しています。

人生、真剣に頭を働かせて考え抜く機会を持つことは非常に大切だと思いますし、ムーミンさんが今そのような心境になっているのであれば私も応援いたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>